



全 国 曹 洞 宗 青 年 会

SOUSEI 2022.08
Vol.198

特集
『禪の庭に学ぶ』



特集 禅の庭に学ぶ

室町時代を生きた禅僧であり作

庭家の夢窓疎石は、足利直義との
問答の際に「山水に得失なし、得
失は人心にあり」と示し、庭を造
る技術より造るということに込め
た心こそ重要と説きました。こう
した思想から、大自然を仏の声と
し、深山幽谷に行住坐臥するのを
本分とした禅僧は、やがて自坊に
理想の深山幽谷を見立てた庭を造
るようになりました。

これらの庭は、見る者それぞれ
に多くの問いかけを与え、今日も
僧侶の研鑽の場となっています。
大自然を見つめ、石の声、苔や草
木の声を聴く。つまり仏性を引き
出すにはどうすべきか考えるのが
「禅の庭」づくりだと耕野俊明老
師は語られます。

今号の特集では、僧侶はもちろ
ん今や参拝者にとっても重要な、
伽藍の一部とも言えるこの「禅の
庭」について、実際にこれから寺
院を守っていく青年僧侶の立場か
ら学んでいきます。

取材場所…神奈川県 曹洞宗 建功寺

●プロフィール
枠野俊明 老師

ますのしゅんみょう
神奈川県横浜市 曹洞宗 建功寺住職
庭園デザイナー

多摩美術大学環境デザイン学科教授

祇園寺紫雲台庭園『龍門庭』『聽楓庭』『水到渠成
の庭』や鶴見駅ビル「CIA」鶴見「屋上庭園『清
風苑』『坐月庭』、ベルリンにある日本庭園『融水苑』
など、国内外の多くの庭園を手掛ける。

著書『禅の庭 枠野俊明の世界』など

鳥賀陽百合氏

うが や ゆり
庭園デザイナー、コーディネーター

同志社大学卒業後、兵庫県立淡路景観園芸学校や
力ナダ・ナイアガラ園芸学校で学ぶ。
イギリス王立キューガーデンでインターーンを経
験、ニューヨークの駅構内に日本庭園のある空間
をプロデュースした。

現在は京都を拠点に活動し、全国で庭園講座や庭
園ツアーを開催。各メディア京都紀行番組などで
庭園を紹介している。

著書『美しい苔の庭』など



曹洞禅は政權と交わらないと如淨禅師から道元禅師へお示しになられたから山中に寺を置くようになった。道元禅師は「峰の色谷の響きも皆ながら我が釈迦牟尼の声と姿と」と仰っています。大自然そのままで、周りの自然すべてが庭なのですよ。

「禅の庭」とは何か。

朽野老師

これが禅の庭だという定義は難しいですが、基本的には禅とは何ぞやというところに行きつくと思います。自分の中の一点の曇りのない心にもう一度出会う。これが禅だと思います。そのために行することで心のメタボといいますか、この心についていた体脂肪を落とすことで、誰しもが持つ仮性に出会うというのが禅の目指すべきところだと思います。ただしこれには形があります。ただしこれには形がありません。形なきものを何かに置き換えようとしたのが禅の芸術です。行を重ねて掴み得た

現できないかといえば、そうではあります。禅僧であっても自分の得意な芸術がなきと表現することは難しい。一方で、出家者でなくとも、禅僧と同じように禅の修行を積んだ方が自分の掴み得た境地を表現すれば、それは立派な禅の芸術なのです。その中の表現の1つが「禅の庭」なんですね。

烏賀陽氏

永平寺さんへいくと【庭】か見たいとうよりも、自然に心魅かれます。周りの自然を見ると豊かな気持ちになります。ちなみに禅の庭には蓬莱山というテーマが多いと思うのですが、これはなぜなのでしょうか。

朽野老師

よく「同じ禅宗であっても庭の多い臨済宗に比べて曹洞宗はなぜ庭が少ないのでですか」と尋ねられることが多いのですがこれがなぜでしょうか?

した。しかし、禪僧でないと禪の芸術が表

禪僧が身を置く場所の理想とするのは深山幽谷なのです。「樹下石上」、「山林樹下」といわれるよう、沢や滝のそばに庵を築いて静かに行を積むことが夢であり、理想なのです。ところが、臨済禪は幕府についていったのでこれが叶わなくなつてしまい

萩野

庭を造るのではなくてその場にある。

桙野老師と鳥賀陽氏、それぞれの視点から
の「庭」の捉え方。

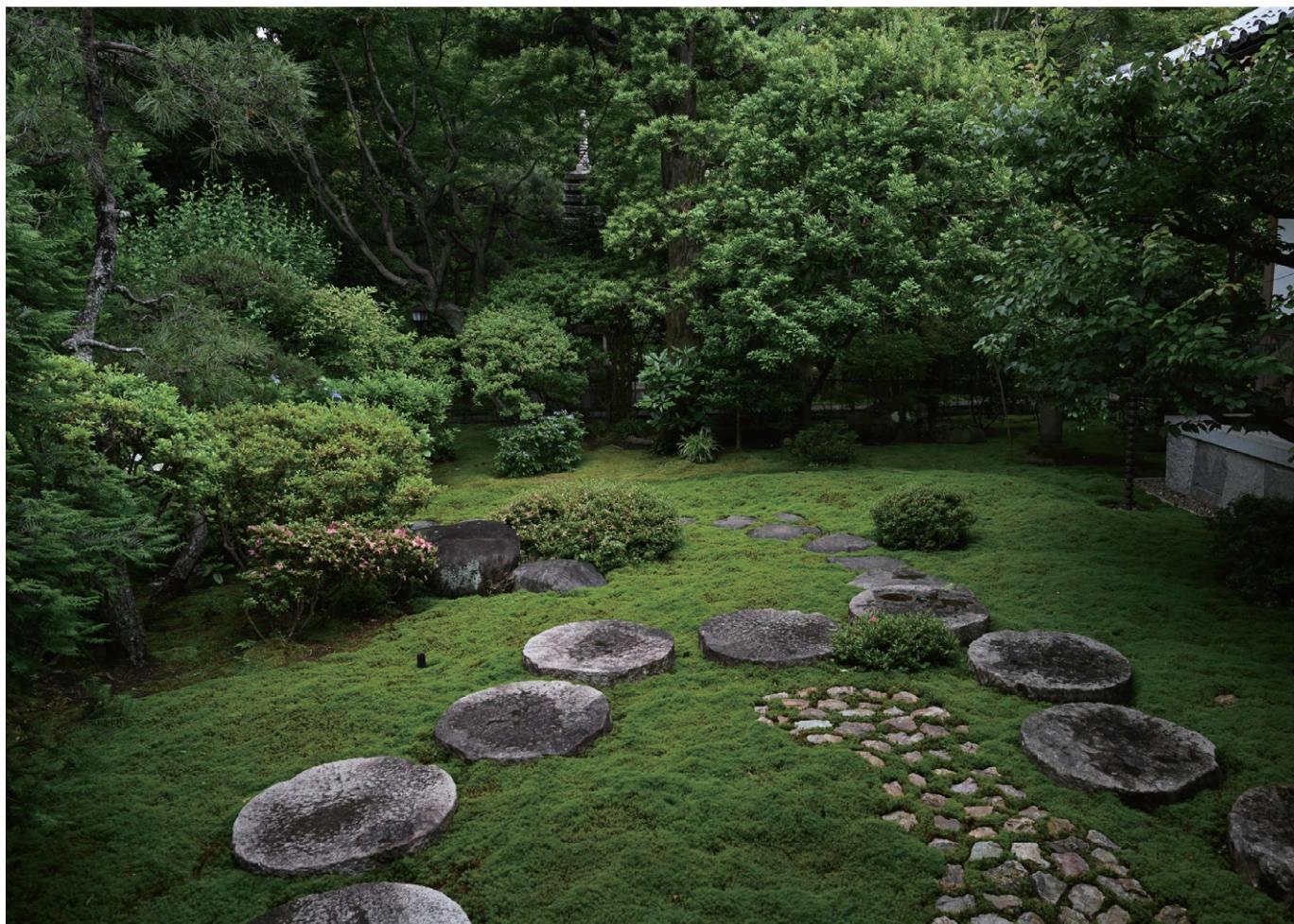
禪僧は自分の法脈が途絶えず長く続いていくようにと願い、蓬萊山、鶴亀の思想を折り込んだのです。

枠野老師と鳥賀陽氏、それぞれの視点からの「庭」の捉え方。

萩野

別の機会で和菓子職人さんに話を伺つた時も、引き算の美学の話をされていました。和菓子のデザインは「二減一加」、つまり2つ減らしたら1つ加えるようでなければならない。いかに余白や間合いを以つて相手に想像させるかが重要だと仰つていました。





鳥賀陽氏

これは日本人独特の概念ですよね。

私は生まれが京都ですが、淡路島の園芸学校からカナダの園芸学校へと進みました。海外の庭は見た目に分かりやすい。でも帰国後、日本人なのに日本の庭が分からぬと思つたんです。見る際に想像力を必要とする日本の庭のすごさを、改めて実感しました。

想像する問合いや余白が禅の庭にあるのは、海外の方をご案内した際、庭の前で涙しておられるのを見て強く感じました。「禅のことは分からぬけれど、この庭が素晴らしいことが良く分かった」とよく感想をいただきます。これは、自分を浄化する作業をされているんだなと思います。

枠野老師

私が庭を見る時には、木や石にはみな仏性があり、それをどう引き出すか日々の声を聽きます。これが「無我のデザイン」です。

それに対し西洋の美術では自分がどうしたいかを考える。つまり「自我のデザイン」なのです。

萩野

庭を造る前には坐禅をされると伺いましたが、これは心の状態をまっさらにするということでしょうか。

枠野老師

そうです。執着を捨て、考えに縛られない。そうしないと我が出てきてしまうのです。

庭を見て何を感じるかが大切なことです。言うならば、自分の生き方に置き換えて考えてほしい。

庭というものには自分の今ある姿が投影されます。ですから、今日観た庭を1年後に見た時に、違う庭に見えたならば、これは心の成長です。事前知識なしで、まずは先入観なく庭を見てほしい。そこから何を感じたかが大切なのです。

求められる寺院の「庭」のこれからの方とは。

枠野老師

すべてが仏の声だった深山幽谷にあつた

禅の庭に学ぶ

曹洞宗寺院も、今は都市部にも多く展開するようになりました。ですから、いまこそ庭が必要なのです。

込んで、自分の生き方の拠り所にする。これがこれから在り方だと思います。それともう1つ。現代社会はストレス社会です。お寺の庭で自分自身を見つめ、来し方、行く末を考えてもらう。そのための時間と場所を提供する。自分自身と問答ができるのがお寺の庭なのです。自己と対峙する手段として庭が必要だと思います。

そして庭は日本の美術の価値観、美意識、技術の集大成だと思います。その中に身を置くことが貴重な時間です。これが普段から自己の心にまとっている鎧、捉われを解くきっかけになると思います。

鳥賀陽氏

今のお話をすごく実感したことがあります。以前開催された日本文化を紹介するイベントで、ニューヨークの駅構内に日本庭園を造ったことがあります。足を運んでくださった皆さん、そこで長い時間を過ごされるんですね。本を読んだり、周りで遊んだりと、思い思いに自分の時間を過ごされていました。

海外の方は庭への親しみ方をよくご存じなんだと思います。日本人の場合、イベントの庭だと見てもすぐに帰られることが多いです。ですから改めてお寺さんの庭は、

心の拠り所となる場所になつてほしい。その環境づくりをお寺さんには担つてほしい

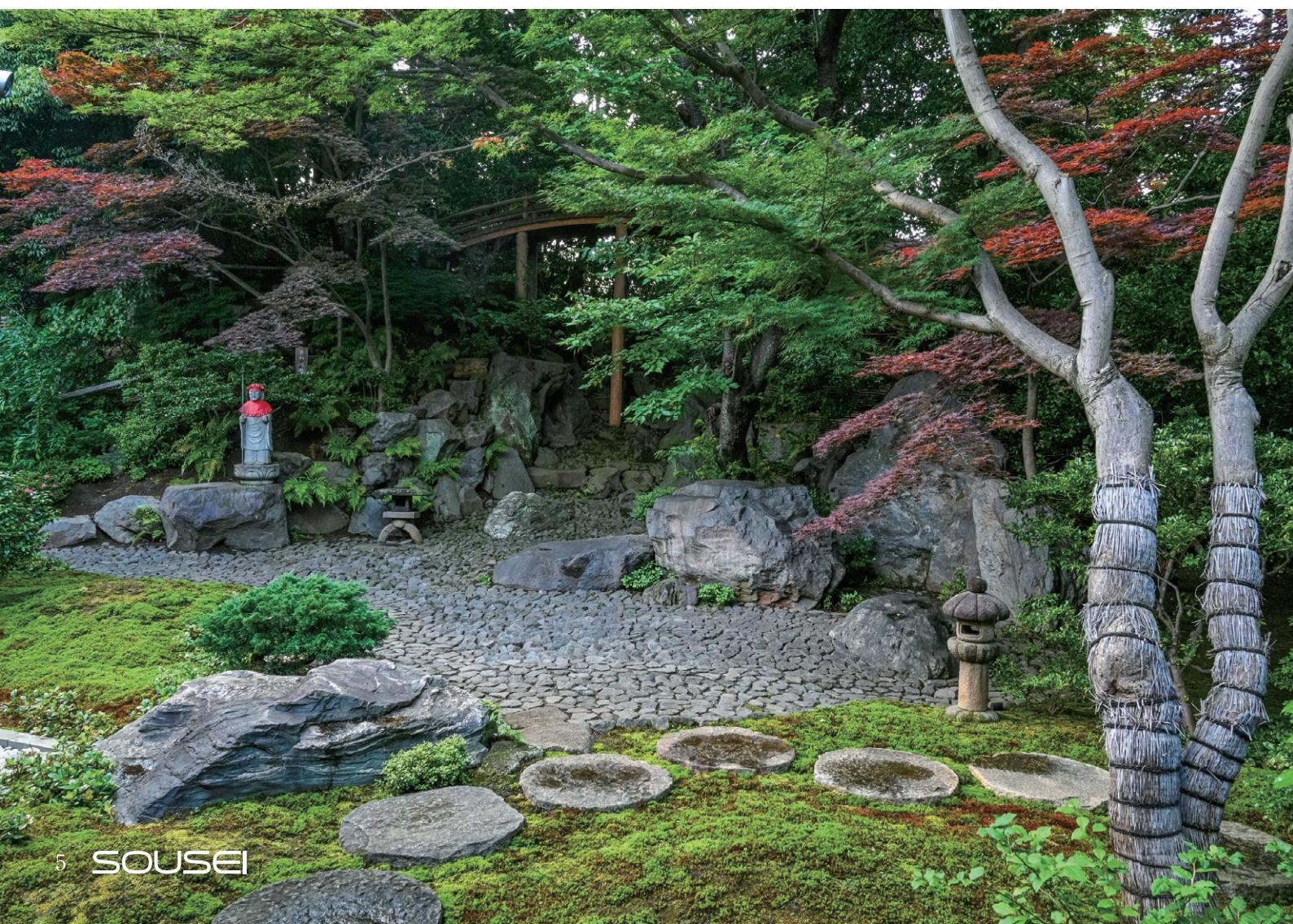
桟野老師

今まで以上にお寺の役割は重要になつていくでしょう。お寺を訪れる人の気持ちをどのように受け止め、どう変えてあげるかが重要になります。

奇をてらつたものは「無我」ではなく「自我」の庭になってしまいます。その時だけ環境をよく見てください。伽藍（建物）から見たときに開口部（窓）から何が見えるか、何を見てほしいか。特性を読み解く。今見える景色を活かすにはどうしたらいいかを考える。これが「声を聞く」ということです。

そうやって、今の自分が身を置いているお寺の地形、歴史、環境と自分が今まで会得してきたものを結びつけて、人を受け止める空間としてお寺がどうありたいかを考えてください。そうして生まれた庭が、お寺の在り方を紹介するきっかけにもなります。ですから「こうありたい」という姿を少しづつ作り上げてください。庭師任せではなく、僧侶である我々の「想い」を踏まえて庭を作つてほしいと思います。

と思います。



実演 禅の庭造り

石組みの決まりや表現手法を用いて、模範となるような実演をいただきます。また石組みの基本を学んだ後には、実際の庭園を通して、空間造りのヒントをご教示いただきます。

①石を読む

石の特徴を理解し、上下や右勝手、左勝手の据え方を検討します。風景等周りとのバランスも忘れてはなりません。向かって右が高く左が低いので、今回は左勝手に据えました。



③遠近法

今回は手前に大きい石、奥に小さい石を据えました。こうすることで遠近法が活き、より深い奥行きを強調することができます。



②角度

見せたい面を考え表情が出せるように角度をつけます。正面では表情がなくなるため、斜めにして立体感を出すこともあります。右石は左石を支えるように角度をつけ、後方脇に据えました。



⑤目線

作庭場所を設定し、立位座位などの状態で見せたいかを検討します。見せたい目線の高さに自分がなって作成することが大切です。



④余白

他石との関係性を考え、安定する間隔を検討します。空きすぎると緊張が途切れ、逆に近すぎでは息苦しくなります。第3石は他石や縁との距離を考えました。

続いて実際に枡野老師が手掛けられた寿昌山祇園寺（茨城県水戸市）の庭園から、「禅の庭」の総合的な空間造りを学びます。



『龍門庭』

『三級浪高魚化龍』（碧巖録）から着想を得た龍門瀑の庭です。祇園寺は江戸初期に明時代の曹洞禪を伝えた東臯心越禪師を開山と仰ぐ寺です。瀧を眺める石でその禪師を表現し、祇園寺の発展行く末を見守っている様子を表現しました。手前には、平らな遥拝石を配置しています。庭を望む場所をあえて定めることで、見ている人に法脈が自分まで繋がっていることを感じてほしいという意図があります。また奥の石橋と共に水平を演出し、建物から見たときに軒と柱が額縁効果を果たすことで奥行きが創出され、縦の線が強くならないように設計しました。



『聴楓庭』

龍門庭の裏に作られた庭で、楓の枝葉が風に揺れる音を静かに聴き、自らの存在を確かめるという意味の庭です。苔と石と白砂を用いていますが、龍門庭で石を多用しているので、できるだけ苔と白砂を多く使い、柔らかさを持たせています。

建物と庭の向きをあえてずらし、庭は州浜の曲線を用いることで奥行きを持たせました。庭と建物の連続性を考え、視線をさまざまな方向へ向けて庭の中を歩いているような気持ちで見てもらえるよう考えました。

寺院の参考となる庭園



曹洞宗 詩仙堂丈山寺 (京都府京都市)

詩仙堂丈山寺は、戦乱の世を生き大坂夏の陣の後に隠退した元武将の文人、石川丈山が1641年に築き、晩年を過ごした山荘跡です。都からほどよく離れ、静かで起伏に富んだこの地から見える景色を『凹凸窓十二景』として好みました。ここには自然と平穏な日常を愛した石川丈山の姿を感じることができます。石川丈山は、余生を贅沢なく清貧に暮らしました。庭に時折響く鹿威し（僧都）は、丈山によつて詩仙堂ではじめて庭園に用いられたといいます。

庭園の砂の手入れは僧侶の手によって行われ、毎朝、砂紋が引かれています。また砂は白砂ではなく山砂が使われており、これは近くを流れる川で沢山の砂が流れてきたときに採集し、濾し器で濾したものです。大変手間がかかる作業ですが、そうすることで庭砂を買わずに手入れが行われています。観光地としても有名ですが、その中には「寺院に備わる環境を活かした庭造り」が実践されています。

また、先代住職の「来山者がどの季節に來ても楽しんでほしい」との思いから沢山の花が植えられ、今も石川丈山の自然と清貧を愛する精神が脈々と受け継がれています。



曹洞宗 真光寺 (愛媛県新居浜市)

真光寺には、平成に入つて作庭された4つの枯山水庭園があります。平成6年より始まつた伽藍の全面建て替えに伴い、作庭家の吉河功氏とのご縁によつて作庭されたものです。四国は青石の産出地としても有名なため、造園業者の協力で産出地まで足を運び、吉河氏とともにご住職も石選びから立ち合い作庭されました。須弥山を意図しながら、まるで如来の立像のような存在感の立石が特徴の「妙高庭」や、十六羅漢を描く「羅漢庭」等、それぞれの庭園に仏教世界が表現されています。

砂紋引きや苔の手入れは山内で行い、ふと見える様々な庭園の姿に自問自答が生まれる。まさに僧侶自身の修行の場としての庭園が今も存続しています。また寺院での法事等も増加していく、檀信徒も来山した際に庭を眺め、庭園の見学を目的とする拝観者も増えたそうです。庭そのものが、来山者と仏教や寺院を繋ぐ架け橋となっています。

これまで伽藍に存在しなかつた庭園を新たに作ることは、決して簡単なことではありません。しかしこのように専門家と僧侶が協力しながら庭園を作り護持することで、僧侶にとっても来山者にとつても意義のある庭園を、後世に残していくことができます。

禅の庭に学ぶ



1つ目の「清風苑」は、多目的広場としての利用も兼ねているため、高低をつけずに造られています。ウッドデッキや芝の緩やかな曲線、石の色や向きで石庭を表現しています。様々な植栽が施され、屋上でありながらも自然を感じることができます。好天の日は近隣の園児や親子連れが訪れ、都会の中にある自然との時間を過ごしています。またコロナ禍以前、この庭園や同施設内の禅カフェ「坐月一葉」では、大本山總持寺役寮や臨済宗僧侶による法話や坐禅指導が行われ、布教教化の場としても活用されていました。

2つ目は枯山水「坐月庭」です。自然石と白砂の砂紋により造られています。細長く限られた場所ではありますが、自己を見つめる空間を表現しています。清風苑と坐月庭をあえて完全に分けることにより、対照的に静かに庭に向かうことができるようになっています。

大本山總持寺最寄り、神奈川県横浜市の鶴見駅に隣接する駅ビルに2つの屋上庭園があります。

1つ目の「清風苑」は、多目的広場として

の利用も兼ねているため、高低をつけずに造られています。ウッドデッキや芝の緩やかな曲線、石の色や向きで石庭を表現しています。

様々な植栽が施され、屋上でありながらも自然を感じることができます。好天の日は近隣の園児や親子連れが訪れ、都会の中にある自然との時間を過ごしています。またコロナ禍以前、この庭園や同施設内の禅カフェ「坐月一葉」では、大本山總持寺役寮や臨済宗僧侶による法話や坐禅指導が行われ、布教教化の場としても活用されていました。



北川半兵衛は宇治で創業し、150年続く茶問屋です。茶問屋だからこそできる最高級の抹茶を使つたお菓子や、美味しいお茶を提供するお茶に特化したカフェになっています。庭に使つている石臼は、北川半兵衛で使われていた古いものを転用しています。お茶の歴史が刻まれた石臼を使うことで、今まで培われた伝統と新しい試みでできた空間を繋ぐ役目を果たしています。また庭の面積がかなり小さく、建物に四方が囲まれています。窓から見える景色も限られているので、石垣で地面のレベルを上げて、広く見えるようにしています。日があまり当たらないことと、室外機や通風口で気温が高くなるので、その環境に耐えられる植物を選んで植栽しています。

現代の寺院は都市部や地方に閑わらず、様々な環境に適応した伽藍を形成しています。環境によつては、庭を造るスペースが少ない場合もあるかもしれません。しかしこうした工夫によって、少ない空間にも寺院の歴史を活かした庭を造ることが可能となります。

CIA 鶴見（神奈川県横浜市）
枠野俊明老師 作庭

北川半兵衛（京都府京都市）
鳥賀陽百合氏 監修

特集『禅の庭に学ぶ』まとめ

「和尚さん何も知らはらへん。と言われんように若いうちに勉強しちゃや」。数年前、京都弁でそう言われたことが、私にとつて庭を始めとした日本文化に興味を持った契機でした。これは兼業先の研修会でお世話になつた方の言葉です。様々な方と関わる中で、この言葉の意味を体感する機会を沢山経験しました。もっと勉強しなければと思い、一般向け街歩き講座に参加し、今回対談に参加していただいた庭園デザイナーの鳥賀陽百合さんにお世話になりました。

その講座では同じ参加者の一般の方から、私が僧侶であると分かると様々な質問をされました。寺院の庭や建築・和室・床の間・茶道・生け花について、掛け軸の扱い方などと、あげれば枚挙にいとまがありません。「お坊さんだつたらご存知かもしない。だから聞いてみよう」僧侶がそいつた存在であると世の中から認識されているということは大変あります。

今回の対談で耕野老師は「日本文化の根底には必ず禅の思想が息づいています。和尚は日本文化を背負つて皆に伝え、広めてゆく重要な役割を担っています。お寺の歴史、法脈など代々の住職が今まで受け継いできたことを見つめ直してください」と仰いました。寺院の在り方が岐路に立たされているといわれる昨今、このお話をとても印象に残っています。

これから時代、寺院がどうあるべきか考え、新しいことを始めるのも重要です。同時に、今まで受け継がれてきたものを次代へと伝えていくことも肝要です。その1つに今ある庭を整える、或いは新しく作るという取り組みもあると思います。深山幽谷に身を置き、仏の聲を聴くことを理想としていた禪僧の在り方も今では変わってきました。多くの寺院が市中に存在するようになったのです。庭という自然を通して仏の聲を聴く。その機会を広く世の中に提供することが、僧侶だけでなくストレス社会といわれる現代社会において、自分自身と対峙する貴重な時間を作り出すことにも繋がります。

私の住職地には、先代住職の頃に檀信徒の皆さんと相談して庭が作られました。今も年数回、檀信徒の皆さんにお手伝いをいただき、草取りや清掃を行っています。共同作業しながらの会話は法要などの改まった機会ではないため、よりお寺と僧侶に親しみを持つていただけています。このように庭は自然を通して仏の聲を聴く場であり、僧侶である私と、広く様々な立場の人との間を繋ぐコミュニケーションの場もあります。

変わりゆく世の中においても、お寺は昔も今も変わらず、自分自身を見つめ、来し方、行く末を考える時間と場所を提供できる存在でなければなりません。お寺とその庭。禅が息づく中で行住坐臥させていただいていることに感謝し、「若い和尚さんは何も知らはらへん」と言われないようにありたいと思います。





大本山總持寺 開創七百年 延年之章

令和3年に開創七百年を迎えた大本山總持寺。コロナ禍の影響で参拝やイベントが制限される中、全曹青では、令和3年9月12日に大本山總持寺祖院での慶讃法要に合わせ、禅文化学林「ZENSOUSEI ONLINE FESTA」を開催しました。開創七百年の報恩の誠を捧げ、また両祖から相承されてきた正伝の仏法を未来へと相承すべく、全国の青年僧侶と大本山總持寺祖院、そして世界をオンラインで結びました。社会変化に対応する青年会活動として、新たな可能性を示す事業となりました。そして令和4年、新たに『延年之章』としてさらに様々なイベントが開催されています。全曹青は随喜の喜びを胸に参画いたします。

三重県曹洞宗青年会・和太鼓集団「鼓司」奉納演奏 with ぜんのきらめき

大本山總持寺祖院では、令和4年9月の土・日・祝日に、山門へのプロジェクションマッピングを行うデジタルアートイベント「ぜんのきらめき」が開催されます。9月10日(土)にはその一環として和太鼓集団「鼓司」が奉納演奏をいたします。迫力の演奏を是非ご覧ください。

令和4年9月10日
①19:30 ②20:00 ③20:30

※当日は200人ずつの観客制限を設けて3回公演を予定しています。18時より三松門前にて整理券を配布いたします。演奏の様子は『全曹青公式YouTubeチャンネル』でLIVE配信いたします。



和太鼓集団「鼓司(くす)」

平成18年、三重県曹洞宗青年会有志により結成。和太鼓奏者・服部博之氏指導の下、国内外各地での演奏活動を通して、心に響く禅を伝えています。



全曹青
YouTube
チャンネル

ソウセイ・ネットワーク



全国の加盟曹青会の活動情報を共有し、青年会活動のさらなる活性化を目指す本連載。今号は、曹洞宗石川県青年会の活動をご紹介します。

青年会情報



曹洞宗石川県青年会

平成2年発足 会員数25人

会長／細川哲心(右)

事務局長／三香美晋道(左)

■これまで、どんな活動を展開されてきましたか。

■子どもたちに向けた行事のオンライン化は、全国的にも稀なことかと思います。

事もありましたが、昨年はオンライン開催としました。これまで対面で行つてきた行事をいかにオンライン化するか。難しいところではありましたが、会員一同が協力し、無事開催することができました。

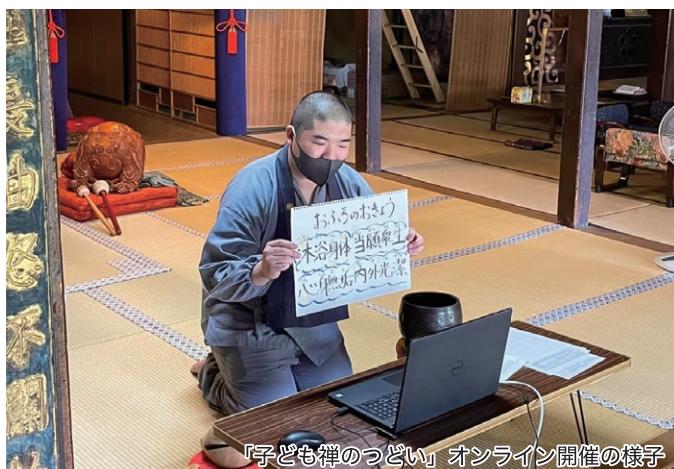
細川会長——曹洞宗石川県青年会は平成2年の発足ですが、発足以前は金沢青年会という名称で長年活動してきた歴史があります。石川県には大本山總持寺祖院やその元となつた永光寺がありますので、青年僧侶の機動力を活かし、各行持の随喜も含め様々な活動を行つてきました。

青年会独自の事業では、特に「緑蔭禅のつどい」や「子ども禅のつどい」を積極的に開催し、現在も大切に継続しています。子ども禅のつどいは夏休み複数日に開催し、毎年計200人近くの参加があります。

新型コロナウイルスの感染拡大によって一昨年は中止にせざるを得ない行

たしかに他所でそういうお話を聞いたことがあります。画面に向かう子どもたちの集中力やパソコン等の機器を操作する親御さんの負担等、考慮すべき点が多くあるからかもしれません。

当会の事業においても同様に、参加する子どもたちの年齢は様々で、学年が1つ違うだけで集中力や興味を向ける対象も変わってきます。全年齢が興味を持ることで、尚かつ集中力が切れることがないよう、短時間で進行する必要がありました。また、外出をする必要があります。また、外出を自粛しなければいけなくとも、子どもたちにとつてはせつかくの楽しい夏休みです。画面に流れる映像を一方的に受け取るのではなく、夏休みに何か楽



「子ども禅のつどい」オンライン開催の様子



「子ども禅のつどい」対面開催の様子

しい催しに「参加」したという実感を持つていただきたい。そこを念頭に内容を考えました。

具体的には開催時間を1時間とし、坐禅だけでなく、お寺のちょっととした豆知識を出題するマルバツクイズの時間を作りました。「お風呂に入る時にお唱えがある。マルかバツか」等、子どもたちも普段知ることがないお寺や禅の世界の話に興味を持ってくれ、大変ご好評をいただきました。



『緑蔭禅のつどい』オンライン開催様子

■ 参加する年齢に応じ、考慮すべき点

加している実感を維持するよう進行しました。さらに質問等はチャットで受け付け、移動の時間を使つてお答えしました。こちらの想定より多くの質問をいただき、質問対応の人員確保も重

は、より参加している感覺を重視した内容としました。

皆様もご存じのように、昨年は大本山總持寺開創700年の年でした。全曹青様でも「ZENSOUSEI ONLINE FESTA」を開催され、当会も動画を作し参加させていただきました。当会

の「緑蔭禅のつどい」でもこの記念の年を意識し、太祖禪師降誕会の日に大本山總持寺祖院のオンライン拝観の機会を頂戴しました。

オンライン拝観にも様々な手法があり、例えば事前に拝観コースを巡る映像を用意することも可能です。しかし、それでは実際にその場に行くのとは少し違う体験になってしまいます。広範囲を移動しながらの通信維持は簡単ではありませんでしたが、伽藍をリアルタイムに巡ることとしました。

またオンラインの参加者は、画面に収まる画角しか見ることができません。周囲が見えないため、方向感覚や距離感をつかむのも難しくなります。現在拝観中の位置を図で表示したりと、参

このように、現状オンラインで可能な最大限の活動を継続しつつ会員同士の相互理解を進め、スムーズな対面事業の展開へと備えたいと思います。

石川県は大きく考えると、市街地である金沢側と自然の多い能登側に分かれます。住んでいる地域によって個人が抱える状況や課題も変わり、青年会活動を通して学ぶ点が変わってくるよう思います。それぞれが自分の住んでいる地域とは違う環境で生まれた考え方や知識に触れることで、会員それぞれの学びがあると考えています。この学びを自坊や師寮寺で応用できるよう、挑戦を続けていきたいと考えています。

そこで、当会は月1回のオンライン坐禅会も継続していますが、この春からこれを自由な布教教化の会とし、担当者も持ち回りとしました。オンライン事業には機器等に関する専門知識が必要ですので、ZOOMホストも含め全て担当者制とし、実際の経験から知識を得ることが狙いです。また対面が制限される現在、この担当者制であるこ

曹洞宗石川県青年会から全曹青に
出向しています。

取材／広報委員長 菅悠生



事務局次長 勝田淳玄

とが会員の交流の代替となることも意識しています。自由な布教教化の時間ですので、各会員の人柄やどんな引き出しを持っているかを、お互いに知ることを目指しています。

レポート全文

中央研修会「オンライン事業の実際」開催報告



信方法やマイクやカメラ等の機材の詳細、進行台本やオペレーター配役の重要性を学びました。

次に茨城県曹洞宗青年会の笠島秀隆広報委員長より、YouTubeで展開中の精進料理動画シリーズが紹介されました。事業の意図や継続するための工夫、また一般向けて留まらず、典座経験がない僧侶にも役立つ可能性を目指していること等が説明されました。

研修会後半では、オンライン配信事業を

展開する「株式会社CIA」より原田慎氏を講師にお招きし、「ZOOMとYouTubeのライブ配信テクニック」と題しご講演いたしました。各媒体のもつ性質の違いや実際の配信に必要な機材や配線方法等について、詳細にご教示いただきました。

5月10日、翌日の定期総会に先立ち、「オンライン事業の実際」と題して令和4年度中央研修会を開催いたしました。今回は、オンラインでの参加も可能なハイブリッド形式とし、約90人が参加しました。研修会前半では、各加盟曹青会で取り組むオンライン事業を紹介しました。まず岡山県曹洞宗青年会の清涼見輝会長より、昨年オンライン開催した中国管区大会の運営方法が解説されました。複数会場を繋ぐ配

令和4年5月11日、曹洞宗檀信徒会館3階「桜の間」で令和4年度定期総会を行いました。中央研修会と同じくハイブリッド形式で開催いたしました。

勝田浩之老師、曹洞宗宗務部教化部長・浅川信隆老師にご臨席いただき、大本山總持寺貫首・石周行禪師並びに、宗務總長・鬼生田俊英老師より祝辞を頂戴しました。

また大本山永平寺より祝電を頂戴しました。

総会冒頭の山田俊哉会長の挨拶では、こ

の1年間、コロナ禍の大変な状況下での会員の協力に感謝し、そして今年度も今期スローガンである『Paradigm shift』に基づき、オンラインをはじめとした様々な新たな方策の下に、社会情勢に積極的に対応しながら挑戦を続けていくことが改めて表明されました。

各委員会活動報告では、コロナ禍に対応

しながらも展開された活動の成果が総括され、令和4年度活動計画では対面事業の実現も含めた活動計画が発表されました。また最後に、来期第25期会長について福岡県曹洞宗青年会所属の田ノ口太悟師が会長選考委員会より推薦され、満場一致で承認されました。

昨年1年間は、コロナ禍という過去に経験のない状況を前に、今までとは全く違う活動展開を余儀なくされました。そんな困難の中であっても、新たなことに挑戦し、皆で知恵を出し合って運営を行った経験は今後の大きな糧となりました。令和4年度も引き続き、様々な活動への取り組みを行う意思を固めました。

取材／広報委員 泉田尚志

山県曹洞宗青年会の清涼見輝会長より、昨年オンライン開催した中国管区大会の運営方法が解説されました。複数会場を繋ぐ配

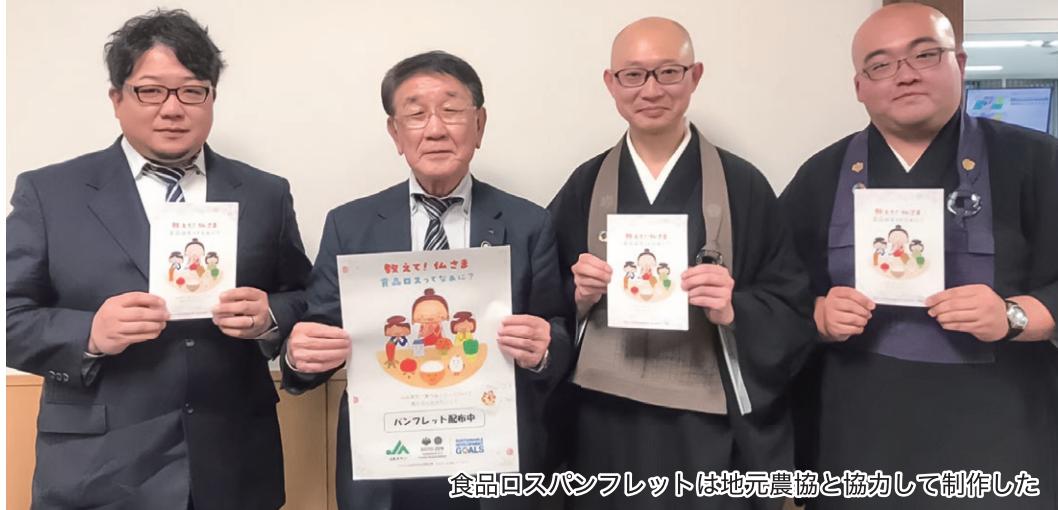


定期総会

取材／広報委員 信行一宏



曹洞宗北海道第三宗務所第一教区青年会「禅真会」制作
「子どもたちのためのSDGsパンフレット」



食品ロスパンフレットは地元農協と協力して制作した

「いま、大人が、子どもたちに何ができるか！」

新型コロナウイルスが広まり始めた一昨年の4月、当青年会はコロナ禍を考慮し、毎年夏に行っていた「子供一泊禅の集い」開催中止を決めました。しかし、「こんな時にジタバタするのが我々青年僧侶ではないか！」と意見がまとまり動き始めたのが、子どものための「未来への種まき」事業でした。

そこで、地球上の誰一人取り残さないことを誓っている「SDGs（持続可能な開発目標）」を子どもに伝えたいと「子ども向けのSDGsパンフレット」作成が決まり、力を借りたのが公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会でSDGsを専門に推進啓発運動をしている委員会の皆さんでした。

宗教の観点だけではなく経済の観点を取り入れ、立場を超えて冊子を作ることで多様な視点が取り入れられ、我々多くの気付きを得ることができまし

た。さらには、1つの宗教団体だけではなく、経済や農業等の方と連携することで、公立高校や企業など様々な立場の方から冊子への問い合わせがありました。

一昨年は、「仏教と経済」の立場からSDGs総論の冊子を作り、昨年は、地元の「JAるもい」との協働で「仏教と農業」の立場で「食品ロス」の冊子を作りました。今後も多様な立場の方々と連携を取り、子どもたちの未来への種まきを続けてまいります。

文／曹洞宗北海道第三宗務所
第一教区青年会「禅真会」

会長 谷 龍嗣



SDGs 総論パンフレット



東北管区大会「宮城大会」併催「禪文化学林」開催のお知らせ



東大寺大仏殿 法要の様子



大仏殿へ向かう隨喜衆

この度、第47回曹洞宗青年会東北地方集会「宮城大会」に全国曹洞宗青年会「禪文化学林」も併催いたすこととなりました。来年3月には東日本大震災で亡くなられた方々の13回忌を迎えます。そのため今大会は、県内で最も死者・行方不明者が多かった石巻市に於いて、慰靈供養と復興祈願の法要を主軸とした大会にいたしたく準備を進めております。

全国の青年僧侶の皆様方には、現地にてご参加いただきたいところではございますが、コロナ禍の世情を鑑み、後日、期間限定で配信されます映像をご視聴賜りたくご案内申し上げます。

文／宮城県曹洞宗青年会会长 高橋信弘

詳細につきましては、同封のチラシや宮曹青HPをご参照ください。

11月26日(土)宮城曹青会員を中心に行う
〔開催場所〕
マルホンまきあーとテラス
（石巻市複合文化施設）

〔大会内容〕

東日本大震災犠牲物故者
13回忌慰靈法要

復興祈願法要
鎮魂の花火

宮曹青HP



「仏法興隆花まつり千僧法要」と
「WFBY世界佛教徒青年連盟
50周年慶讚記念法要」

全日仏青
NEWS



JYBA
ALL JAPAN
YOUNG BUDDHIST
ASSOCIATION

長として村山博雅顧問が現地に赴きました。

今年は全日仏青が加盟しているWFBYが50年の節目の年を迎えるにあたり、「WFBY 50周年慶讚記念法要」が併催されました。YouTubeのLIVE配信を千僧法要では初めて導入し、全国の全日仏青会員や一般参加者は勿論のこと、WFBYの世界最大の佛教ネットワークと培われた50年間の團結力を通じて、世界中の佛教徒がリモートで参加する大行事となりました。

従来の千僧法要とは差定も変わり時間の短縮が図られ、コロナ禍のもたらした社会の変容と青年会活動の変化を痛感いたしました。改めて新型コロナ早期終息と世界平和をお祈りいたします。

文／高柳龍哉

全曹青 国際委員長

全日仏青 理事

WFBY 事務局次長



教化委員会からのごあいさつ

委員長

菅生 泰礼

東三河曹洞宗青年会

『Paradigm Shift』というスローガンの下、目まぐるしく変わる社会の中で、そもそもなぜ布教教化活動をするのか改めて日々考えております。自身が心の底から仏法を信仰し、実践することが肝要であるということを念頭に置いて、皆と共に試行錯誤しながら行い、発信していきたいと思います。

副委員長

天雨 頸成

長崎県曹洞宗青年会

今期で全曹青3期目を迎えます。今まで教化委員として千僧法要、映画撮影、精進料理教室、オンライン坐禅会など務めてまいりました。全国の僧侶と切磋琢磨できるこの環境、今期も多くのご縁に感謝して務めしていく所存です。よろしくお願い申し上げます。

副委員長

東 秀謙

曹洞宗鳥取県青年会

前期より引き続き教化委員会に参加させていただいております。常に変化する社会情勢において思うように活動できない面もありますが、コロナ禍でもできる、コロナ禍だからこそできる教化とは何かを模索しながら活動し、精一杯務めさせていただきたいと思います。

委 員

今野 尚道

山形曹洞宗青年会

令和3年度にご縁を頂戴し全国曹洞宗青年会の教化委員会に配属され約1年半、委員として活動させていただいております。今期も残りわずかですが、教化委員長をはじめ委員諸師の足を引っ張らないよう、教化委員会そして全曹青に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

委 員

梅澤 黙堂

曹洞宗北海道第二宗務所青年会

第24期より全曹青に参加させていただいております。教化委員会では様々な学びや経験をいただきありがとうございます。実際に会っての活動が未だ難しい中、今期のスローガンにもあるように世の中が大きく変わるもので、教化委員会の一員として微力ながら委員会の活動に携わっていきたいと思います。

委 員

田中 太隆

曹洞宗長野県第二宗務所青年会

第24期より全曹青に参加しております。コロナ禍でZoomを使ったオンラインによる委員会活動が主流になり、諸先輩方に教わる日々です。この機会に巡り合えたことの感謝を忘れず、少しでもお役に立てられるよう精進してまいります。

全国曹洞宗青年会の活動にご理解とご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。
お預かりした贊助費は活動の大きな支えとして活用させていただくとともに、
またボランティア基金として災害復興支援活動に充てさせていただきます。

◆福島県

46 龍傳寺 様
83 最禪寺 様
90 明光寺 様
99 茂林寺 様
101 成林寺 様
110 龍徳寺 様
111 普光寺 様
173 長慶寺 様
209 吉祥院 様
226 常隆寺 様
266 洞雲寺 様
274 龍門寺 様
304 梵音寺 様
373 泰雲寺 様
461 正法寺 様

◆宮城県

7 保壽寺 様
10 瀧澤寺 様
76 清涼寺 様
263 西林寺 様
282 耕徳院 様
366 香林寺 様
420 玖光院 様

◆岩手県

67 永昌寺 様
81 圓城寺 様
104 廣徳寺 様
166 寶泉寺 様
196 建高寺 様
245 常樂寺 様
248 吉祥寺 様
◆青森県

◆山形県1

90 無量寺 様
217 円応寺 様
◆山形県2

◆山形県3

468 宗傳寺 様
470 蓮台院 様
503 梅林寺 様
623 歡喜寺 様
◆秋田県

◆北海道1

87 慶祥寺 様
125 高昌寺 様
166 久昌寺 様
206 松雲寺 様
245 常泉寺 様
265 倫勝寺 様
306 洞雲寺 様
313 立昌寺 様
321 鏡得寺 様

◆北海道2

280 東光寺 様
418 萬台寺 様
◆北海道3

219 瑞法寺 様
460 道貫寺 様

インターネット受付分

◆東京都

清水 洋孝 様
大石 邦典 様

◆島根県2

5 地福寺 様

◆福岡県

173 長覚寺 様

◆愛知県1

永津 貴大 様

◆長野県1

227 岩松院 様

◆三重県1

305 傳法院 様



北海道札幌市第一宗務所
第10教区青年会 様

令和3年度「写経プロジェクト」納経料净納芳名簿

お預かりいたしました净財は、ボランティア基金として
被災地の支援活動に使用させていただきます。

◆神奈川県

丸山広美 様

◆岐阜県

全昌寺 様

◆長崎県

洪徳寺 様

◆山形県

山形第三宗務所青年会 様

萬德寺 様

長松寺 様

柳澤寺 様

東陽寺 様

泉高院 様

◆埼玉県

大願寺 様
太郎書に親しむ会・
吉野公民館写経会 様

◆三重県

海藏寺 様

◆富山県

石浦杏奈 様

◆秋田県

秋田県曹洞宗青年会 様

◆山梨県

無量寺 様

◆大阪府

畠中釀日 様

◆福島県

西尾光祥 様

◆愛知県

愛知高等学校 様

◆島根県

錦織美由紀 様

◆愛媛県

興雲寺 様

掲載が遅くなりましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

賛助費・ボランティア基金浄納芳名簿

2022年4月1日～2022年6月30日取扱い分

◆東京都	◆山梨県	◆愛知県2	◆岡山県	◆長崎県1
6 光寶寺 様	245 青原院 様	684 花井寺 様	3 長川寺 様	2 善提寺 様
14 法音寺 様	286 広教寺 様	813 全久院 様		33 妙本寺 様
90 梅岩寺 様	392 慈照寺 様		◆広島県	42 西方寺 様
106 觀泉寺 様	543 龍澤寺 様	◆愛知県3	22 光禪寺 様	78 宝泉寺 様
241 築田寺 様		379 泉柳寺 様	46 雙照院 様	
371 円明寺 様	◆静岡県1	431 報恩寺 様	76 長福寺 様	◆佐賀県
	26 宝珠院 様		86 西金寺 様	118 養寿寺 様
◆神奈川県2	34 洞慶院 様	◆岐阜県	100 中興寺 様	144 世尊院 様
1 本覺寺 様	95 久應院 様	15 東林寺 様	133 少林寺 様	
5 天徳院 様	202 先照寺 様	189 久昌寺 様	143 常林寺 様	◆熊本県1
14 傳心寺 様	388 林叟院 様	190 長久寺 様	146 福善寺 様	28 大慈寺 様
	464 正泉寺 様	245 良守寺 様	177 功徳寺 様	
◆埼玉県1	501 養徳寺 様	◆三重県1	◆山口県	◆熊本県2
2 正眼寺 様	556 信香院 様	136 長昌寺 様	145 久屋寺 様	73 遍照院 様
92 淨山寺 様		144 福源寺 様	170 大源寺 様	78 地藏院 様
436 陽雲寺 様	◆静岡県2	269 大蓮寺 様		88 明徳寺 様
	228 耕月寺 様	276 地藏院 様	◆鳥取県	122 國照院 様
◆埼玉県2	267 修禪寺 様	291 林昌寺 様	1 興雲寺 様	◆長野県1
368 東昌寺 様	◆静岡県3	364 観音寺 様	81 大岳院 様	65 柳原寺 様
◆群馬県	608 養勝寺 様	◆三重県2	139 養光院 様	86 圓福寺 様
56 玉泉院 様	634 光明院 様	435 長全寺 様	◆島根県1	121 净光庵 様
231 泉福寺 様	927 正眼院 様	989 観音寺 様	295 妙義寺 様	149 長榮寺 様
				370 日輪寺 様
◆栃木県	◆京都府		567 薬師寺 様	
1 成高寺 様	◆静岡県4	6 天寧寺 様	◆島根県2	
94 天性寺 様	1061 保福寺 様	46 榮春寺 様	45 禪覺寺 様	◆長野県2
103 光真寺 様	1105 仙林寺 様	236 善光寺 様	63 龍覚寺 様	389 宗福寺 様
167 興福寺 様		378 德昌寺 様	70 完全寺 様	
175 本光寺 様	◆愛知県1	389 萬福寺 様	119 常光寺 様	◆富山県
	7 全香寺 様		140 法藏寺 様	54 大淵寺 様
◆茨城県	101 成福寺 様	◆大阪府	161 太林寺 様	
39 常安寺 様	112 太平寺 様	31 正泉寺 様	187 養善寺 様	◆新潟県1
57 常安寺 様	135 光明寺 様	40 伊勢寺 様		368 正通寺 様
172 大聖院 様	156 地藏寺 様	98 吉祥院 様	384 庄川寺 様	
182 龍心寺 様	162 妙済寺 様	107 實相院 様	18 陽春院 様	393 曹源寺 様
197 長龍寺 様	173 神藏寺 様		146 興雲寺 様	394 常安寺 様
	209 観音寺 様	◆和歌山県	155 禪興寺 様	450 西福寺 様
◆千葉県	313 長松寺 様	52 宗應寺 様		496 長樂寺 様
2 宗胤寺 様	605 天徳寺 様	◆兵庫県1	◆福岡県	
7 満蔵寺 様	635 永澤寺 様	287 向榮寺 様	5 妙德寺 様	◆新潟県3
8 重俊院 様	1095 薬師寺 様	341 常嚴寺 様	28 桂木寺 様	530 花栄寺 様
22 廣壽寺 様	1119 松月寺 様	368 總持院 様	福岡県曹洞宗青年会	
29 慶林寺 様		◆兵庫県2	◆大分県	◆新潟県4
93 芳泰寺 様		117 法円寺 様	23 松屋寺 様	9 東陽寺 様
119 森巖寺 様		217 長福寺 様	82 多福院 様	38 興泉寺 様
185 勢國寺 様		228 豊樂寺 様	146 香林寺 様	217 諸善寺 様
				738 不動寺 様

全曹青公式 YouTube チャンネル

「ASMR 精進料理」シリーズ

料理に向かう音の心地良さとともに、精進料理の基本や季節ごとの仏膳の作り方をご紹介しています。食材の命を身近に感じていただけるよう、ASMR として食材を調理する音を丁寧に収録いたしました。

「坐禅作法動画」シリーズ

自宅で行える坐禅作法を紹介します。また外国の方向けに英語版動画もご用意しています。自宅で坐禅を体験する場合でも、青年僧侶の音声による指導によって、坐禅会のようなひと時をお届けします。

「お経動画」シリーズ

青年僧侶が集まった本格的な讃経に經典の文字を併記し、各ご家庭で僧侶と一緒に読経できる動画です。特に般若心経の誦誦動画は視聴回数 244 万回を越え、大変多くの注目をいただいているます。



全曹青公式
YouTube
チャンネル



表紙の話

今号の表紙は特集記事で学んだ「禅の庭」の精神を着想とし、写真の上下を反転させ、夜空や月の地表にも見える水面を主眼に置きました。写真という媒体の中で、実像だけに注目するのではなく別の何かを見出す心を表現しています。

撮影地／香川県 父母ヶ浜 撮影／広報委員長 菅悠生

『全曹青公式 YouTube チャンネル』では、青年僧侶の視点で制作した動画を多数公開しています。チャンネル登録者は 12,000 人以上、僧侶だけでなく一般の皆様にも広く禅に親しんでもらえるチャンネルとなっています。是非ご覧いただき、今後の展開にご注目ください！



Straighten your back. Settle your gaze a short distance away on the floor in front of you, eyes half open, and soften your gaze.

POSTURE & GAZE

